

# への 市議会だより



YouTubeでネット中継配信中

二戸市議会 ネット中継



76号

令和 7年  
9月1日 発行

## 6月定例会 — CONTENTS —

定例会の概要、主な議案の内容	2
常任委員会での審議	3
質疑、討論	4
審議結果、賛否の公表	5
一般質問	6
意見交換会	12
政務活動費執行状況	13
表彰、政策提言、活動報告	14
クイズ、ご意見、編集後記	15
声のひろば	16

7月9日、『二戸についてなんでも  
話そう!』と題し、輪になって自由  
討論を行う形式の意見交換会を開催  
しました。  
(12 ページに特集記事を掲載)



# 6月定例会

## 令和7年度補正予算など全8議案を可決

### 一般会計

6億8392万円を追加



令和7年6月定例会は、6月10日から6月24日までの15日間にわたり開催されました。

今議会は、令和7年度補正予算など8件の議案が市長から提出されました。

本会議や3つの常任委員会で活発な議論が交わされ、審議の結果、議案8件を原案のとおり承認、可決しました。

その他、発議案3件を可決、1件を否決しました。

また、一般質問には11人の議員が登壇し、市政全般にわたって市長や教育長の見解を求めました。

### 主な議案の内容

#### 専決

- 専決処分の承認を求めることについて 二戸市税条例の一部を改正する条例 承認  
令和7年3月31日、地方税法等の一部を改正する法律等が公布になり、令和7年4月1日から施行されたことから、専決処分により二戸市税条例の一部を改正したものです。
- 専決処分の承認を求めることについて 令和6年度二戸市一般会計補正予算（第13号） 承認  
地方交付税及び起債等の収入の確定に伴い、特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がなく、専決処分により予算を補正するものです。
- ◆補正額 1億152万円
- 専決処分の承認を求めることについて 令和6年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第6号） 承認  
県補助金及び起債等の収入の確定に伴い、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がなく、専決処分により予算を補正するものです。
- ◆補正額 △1603万円

### 議決案件

- 二戸市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 可決  
乳児等通園支援事業を実施するため、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第34条の16第1項の規定に基づき、乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関し、必要な事項を定めようとするものです。
- 二戸市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例 可決  
地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和3年法律第40号）に基づき実施される自治体情報システムの標準化に伴い、市の住民基本台帳に記録されていない者を特定する固有の番号を付番・管理する事務が、個人番号の独自利用事務になることから、改正をしようとするものです。
- 二戸市子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例 可決  
重度心身障害者医療費助成について、精神障害者保健福祉手帳1級に該当する者を新たに対象者に加えるほか、文言を整理するものです。

### 補正予算

○令和7年度二戸市一般会計補正予算（第2号） 可決

◆補正額 6億8392万円

【主な内容（歳出）】

・合併20周年関連事業 1151万円

令和8年1月1日に迎える二戸市と浄法寺町との合併20周年の記念事業に係るもの

・まちづくり推進費 1783万円

田中館愛橋博士ゆかりの家に係る市の施設の建設及び設備に係るもの

・予防接種助成事業費 3236万円

新型コロナウイルスワクチン接種に係る助成及び接種に係る事務費

・浄法寺漆ふるさとづくり事業費 51万円

合併20周年記念式典と漆共進会を併せて開催することから、会場クリーニングの手数料及び他産地の漆を展示することに伴う収集手数料並びに共進会開催に係るもの

・天台寺周辺地区振興事業 266万円

地域資源を核とした地域産業の活性化並びに交流人口の拡大を図るため、天台寺周辺地区及び稲庭岳の振興に要する補助金並びに事務費

総務  
常任委員会

合計5635万4000円である。

令和7年度二戸市一般会計補正予算(第2号)

〔浄法寺総合支所地域支援課所管分〕  
PCBの処理について

〔総務部所管分〕

合併20周年記念事業について

問 委託料250万円の内訳は。

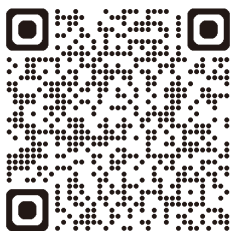
答 海上自衛隊の演奏会を予定しており、その翌日に行う市民対象の演奏指導にかかる費用と、二戸市の洋画家高田啓介さんが絵画監修した映画『海の沈黙』の上映会にかかる費用を合わせて250万円となる。

〔市民部所管分〕

まちづくり推進費について

問 田中館愛橘ゆかりの家に係る費用の総額は。

答 今回の補正予算が休憩案内施設部分の工事費等で1783万円と、当初予算で議決された3852万4000円、



PCBの説明  
岩手県のホームページ

文教福祉  
常任委員会

令和6年度二戸市一般会計補正予算(第13号)

問 福祉灯油の給付実績は。

答 対象世帯3200件に案内を送ったが、申し込みがあったのは1595世帯であった。

二戸市乳児等通園支援事業の設備の運営及び運営に関する基準を定める条例

問 一時預かり事業との違いは。

答 本事業は通園による様々な経験を通じ全ての子どもへの育ちを応援する事が目的。一時預かりは保護者の事由により、家庭保育が一時的に困難である場合のみ利用できるものである。

二戸市子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例

問 一級の精神障害者保

健福祉手帳所持者を対象とする背景は。

答 岩手県重度心身障害者医療費助成事業に基づいて実施しており、県が障害者関係団体との意見交換を行った際に、精神障害者保健福祉手帳の一級所持者を、本助成対象に追加して欲しいと要望があり制度改正になったものである。

令和7年度二戸市一般会計補正予算(第2号)

問 スクールバス購入財源の調整について伺う。

答 補助金交付決定した際は必要に応じて財源組み換えを行う。



児童通学の大切な足であるスクールバス

産業建設  
常任委員会

令和6年度二戸市一般会計補正予算(第13号)

森林環境譲与税について

問 活用内容は。

答 森林所有者に対する森林経営に関する意向調査や、集積計画の策定、林業経営体が実施した森林整備事業補助、新生児への漆器贈呈、天台寺周辺市有林の間伐や小学校の机を更新する際の木材利用等に対し支出している。

今後は、意向調査等に基づいた集積計画を進めながら森林整備を進めていくことを基本に、木材利用や環境整備に有効に使えるよう計画を立てながら進めていきたい。

令和7年度二戸市一般会計補正予算(第2号)

道路新設改良舗装事業について

問 主な路線の完了予定は。

答 福岡高校線は、若干工事はあるかもしれないが、7年度予算で完了予定。上町下川原線は今年度に建物補償と土地購入を行い、9年度完了予定。足沢線、中沢線は今年度完了。役場線は今年度建物補償と土地購入を行い、8年度に歩道整備を行い、完了を見込む。

現在、小学校、中学校ともスクールバスは役場前で降りて学校までの間を歩いており、歩道未整備区間を整備するものである。



市道福岡高校線。  
産業建設常任委員会で現地視察



本会議での  
質疑

二戸市税条例の一部を  
改正する条例

問 国保税の課税限度額引上げについて、どのくらいの所得で課税限度額超過世帯になるのか見込みを伺う。

答 モデルケースとして40歳未満の夫婦で小学生2人の場合は1060万円程の所得がある方が限度額超過するという積算である。

二戸市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 事業者は民間保育施設5施設と子育て支援センターが予定されているが、一般型と余裕活用型それぞれどうなっているのか。また、県をまたいだ利用申込みは可能か。

答 今現在の情報では、定員に余裕があるので余裕型の方から受け付けていくものと考えている。また、施設に余裕がある場合は県外からの利用申込みは可能である。

問 一般型では定員を別に設けて受け入れることから保

育現場が大変になると考えられるが、職員体制、配置等受入れ態勢について考えはあるか。

答 事業者においても保育士の定員があるため、無尽蔵に預かるということではない。あまりにもたくさん申し込みがあれば、受入れが不可能となることを考えられる。

令和7年度二戸市一般会計補正予算(第2号)

問 令和6年度末に保健師と栄養士がそれぞれ2名ずつ退職した後の補充の状況と、通常業務に支障がないのかどうか、令和7年度の職員配置状況と併せて伺う。

答 年度末に退職した人数について、時期も含めて直ちに採用できていない部分もある。全体の事務事業を見ながら必要な人数の確保に努めていきたい。

もう少し人員が欲しいが直ちに埋められない場合には、個人や専門職数名に頼り切るのではなく、組織として全体を力バーしながらその業務を進めていくのが一番大事である。

討論



二戸市税条例の一部を改正する条例

反対 畠中 泰子 議員

今回の改正のうち国保税の課税限度額を現行の106万円から109万円に引上げることにについて反対する。課税限度額はほぼ毎年引上げられ、所得が伸びない中引上げを繰り返すのは異常である。国は国保財政への国庫負担を大幅に増やし、国民皆保険制度、国保を守るべき立場から、限度額を引き上げることについて反対する。

二戸市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

反対 畠中 泰子 議員

2026年から利用者と事業者の直接契約の仕組みになるが、市町村の仕事は利用者の認定、事業者の認可、施設が代理受理する給付費の支払いになる。事故が起きた場合の責任や保険などについてまだまだ明らかにされておらず、現在の不十分な態勢での受入れに大きな不安があることから反対する。

二戸市議会の議員の定数を定める条例等の一部を改正する条例

反対 畠中 泰子 議員

議会の機能は市民に代わり市民

の重要な意思や市の進路・運営の基本を決定する重要なことである。今日、地方の行財政はますます厳しくなっており、課題は多様化・増大している。今まで以上に市民の声を把握し、行政や議会に届ける議員の役割は増している。そのために現状維持で18名の議員が一層活発に活動することが必要と考える。以上の意見をもって反対する。

賛成 土佐野 淳 議員

市民の生の声やアンケート結果から、多くの市民が議員定数を多いと考えていると分かった。我々議員の大切な仕事の一つは市民の声を市政に活かすことであり、議員定数についても実現していくことが責務である。

以前議員定数を減らした時から人口は2800人程度減少している。これだけの人口が減少している以上、定数減は妥当である。以上のことから賛成する。

米の危機打開をはかるために政府が米需要に責任を持ち、外米輸入の拡大をしないことを求める意見書

反対 田川 晃 議員

米の需要混乱の原因は、気候変動による米収穫量の減少、インフレによる供給力低下等々複合的に絡み合っていると言われ、国が生産調整を行ったことが直接の原因ではない。またミニマムア

クセス米の輸入は国際交渉の中で決まったもので、国が管理し、主に加工食品利用、飼料用や海外援助に利用されている。

まずは主食用米の流通確保と価格安定に取り組むことが危機打開のために今一番やらなければならないことである。よって意見書提出は必要ないことから反対する。

賛成 畠中 泰子 議員

今、米農家が半分以下となり、水田面積も減少している。主食である米の農家と農地がここまで崩壊しているのは重大な問題である。日本で米が作れるのにミニマムアクセス米77万トン毎年輸入しつつ、国内の農家に減反、減産を押しつける農政は転換すべきであり、本意見書に賛成し、二戸市議会の声として国に米政策での転換を求める決議をしていただきたいと申し上げ、賛成討論とする。

反対 沼井 賢壮 議員

農政の転換は確かに必要であり、今までの農業政策が今回の米騒動の歪みを生み出している一因であると考えられる。しかし、現農水相は米農政に関して改革に着手すると言っているため、こちらを見守っていくべきである。

国と国との約束であるミニマムアクセス米を、一個人の意見で二戸市の米政策として国に届けるというのは到底賛成しかねる。よってこの決議に反対する。

審議結果、賛否の公表


審議結果

議案等	議案名等	審議結果
議案	専決処分の承認を求めることについて 二戸市税条例の一部を改正する条例	承認（賛成多数）
	専決処分の承認を求めることについて 令和6年度二戸市一般会計補正予算（第13号）	承認（全員賛成）
	専決処分の承認を求めることについて 令和6年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第6号）	承認（全員賛成）
	二戸市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決（賛成多数）
	二戸市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	二戸市子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	令和7年度二戸市一般会計補正予算（第2号）	可決（全員賛成）
	令和7年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
報告	議員定数等調査検討特別委員会報告について	報告
発議	二戸市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	二戸市議会の議員の定数を定める条例等の一部を改正する条例	可決（賛成多数）
	米の危機打開をはかるために政府が米需要に責任を持ち、外米輸入の拡大をしないことを求める意見書	否決（賛成少数）
	『二戸市の未来のために』人口減少対策に関する政策提言書 提出に関する決議	可決（全員賛成）

賛否の公表 採決で賛否が分かれた案件の結果です。


議案名等	土佐野 淳	高村 人司	柴田 清克	堀野 忠教	菅原 規正	戸来 守和	國分 敏彦	駒木 昇	田川 晃	沼井 賢壮	小田島 行伸	出堀 満則	岩崎 敬郎	新畑 鉄男	畠中 泰子	田口 一男	内沢 真申	田代 博之
専決処分の承認を求めることについて 二戸市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○
二戸市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○
二戸市議会の議員の定数を定める条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○
米の危機打開をはかるために政府が米需要に責任を持ち、外米輸入の拡大をしないことを求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	議	×

※議長は採決には加わりません。 ※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対




### 議会のネット中継

議会のネット中継は  
↓こちら↓



YouTubeで、二戸市議会の議論の様子を配信しています。二戸市の「いま!」をタイムリーに感じたい方は生（ライブ）配信で、ゆっくりと好きな時間に視聴したい方は録画配信でどうぞ。

チャンネル登録お願いします！



### 次回の定例会は9月です！

9月定例会では、一般質問のほか、決算や補正予算などについて審議が行われます。

★詳しい日程は二戸市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。  
(電話0195-23-1685)

「どうなる二戸？ どうする二戸？」

# 11 人の議員が一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたり事業の執行状況や考え方などを執行機関に質問するものです。

戸来 守和 議員 ..... P 6  
1. 今後の市政運営の展望と市長の今後について

堀 野 忠 教 議員 ..... P 7  
1. 浄法寺漆産業について

菅 原 規 正 議員 ..... P 7  
1. 相互関税について  
2. 物価高騰について

田 川 晃 議員 ..... P 8  
1. 避難所の福祉の支援について  
2. ヤングケアラーの周知について  
3. 学校の空調管理について

國 分 敏 彦 議員 ..... P 8  
1. プレミアム付き商品券の発行について  
2. 福岡高校・北桜高校の魅力化推進策と高校生の下宿等の受け入れ推進策を

田 代 博 之 議員 ..... P 9  
1. 公民連携まち再生事業の重点地区4か所について

田 口 一 男 議員 ..... P 9  
1. 農業施策に対する市の見解は  
2. 学校給食無償化と米飯給食の対応は

土佐野 淳 議員 ..... P 10  
1. 二戸・八幡平の稲庭風力発電工事における環境保全について  
2. 子どもの肥満傾向について  
3. 中学校部活動拠点校方式の進捗状況と課題について

小田島 行 伸 議員 ..... P 10  
1. デジタル防災行政無線の聞こえ方に対する対策について

駒 木 昇 議員 ..... P 11  
1. 株式会社カダルミライ経営並びに環境整備について  
2. 二戸市のフレックスタイム制度について  
3. 自殺予防対策について

畠 中 泰 子 議員 ..... P 11  
1. 深刻な物価高騰に対する対策  
2. 減反・減産押しつけと農家激減、米の価格高騰  
3. 国保の資格確認書の発行



戸来 守和 議員

次期総合計画は  
人口減少に対応した  
持続可能な計画が必要

**問** 計画どおりに着手できなかった事業の次期総合計画への引継ぎとまちづくりへの生かし方について伺う。

**答** 市長 計画期間中、新型コロナウイルス感染症のまん延や物価高騰など様々な課題に直面してきた。アクションプランに掲げる683件の事業については概ね着手し、最終年度の今年度に総仕上げを行っているところである。

また、これからのまちづくりの拠点となる金田一温泉、九戸城跡、天台寺や二戸駅周辺区画整理事業についても目に見える形となり将来につながる土台づくりを確実に進めることが出来たと感じている。

今後一層の人口減少が

見込まれる中、次のまちづくりに向けて公共交通や出張所の見直し、中学校や市立保育所の在り方など、事業の選択と集中あるいは財源やマンパワの縮小を見据えた持続可能なまちづくりが必要となってくるのではないかと考える。そして、さらに伸ばす事業として地域の強みの漆産業の振興、まちづくりの核となる地区のソフト面の強化、明治維新の始まりと先人の歴史を活かしたまちづくり、子育て支援の充実、健康づくり都市宣言に係る取組の継続などが挙げられ、産業技術短期大学の誘致も活性化の起爆剤として期待される。総合計画での成果と反省を次の10年、20年へとつなげていくことを前提とし、



第二次総合計画の反省を今後のまちづくりに活かしていく

社会情勢の変化、そしてその時のリーダーの思いが反映された次期総合計画が作られるものと考えらる。

**問** 次期市長選挙出馬の検討はされているか伺う。

**答** 市長 今は総合計画後期基本計画の総仕上げをはじめ様々な課題への対応に全力で取り組んでいるところであり、いずれしかるべき時期に申し上げたい。





堀野 忠教 議員

## 浄法寺漆の生産体制は 引き続き増産

**問** 浄法寺漆の生産目標は。

**答** 市長 国産漆は、平成27年に文化財に使用することが決まっ

**問** 原木確保について伺う。

**答** 市長 作業効率の原木が不足していること

材確保が課題であり調整が必要となっている。なお、今年度は二戸地域及び三八圏域でも原木調査を予定しており、その調査本数も今後加算される見込みである。

林野庁若手北部森林管理署と国有林を活用した協定を締結し、漆苗木に適した植栽地を提供頂き、今後植栽密度に関する検証等も連携して取り組んでいく。

今年度導入する漆流通管理システムを活用しながら、協議の中で適正な需要量と生産流通の把握に努め、引き続き増産に積極的に取り組みながら必要な生産量の確保に向けて努める。

**問** 安全対策と就労環境は。

**答** 市長 熊などに遭遇しないための対策として鈴やラジオなど

を携帯し音による警戒を行っているほか、爆竹の使用や撃退スプレーを携帯する職人の方もいる。丈の長い藪や足跡が見られるなど危険と判断される場所は無理に近寄らずに、安全確保を最優先して作業をするよう指導している。

また、漆掻き職人の方々が定住を続けるための住居の問題にも早急に取り組む必要があり、冬期間には職人ごとの希望に沿った就労を促すなど、職人の安定した収入確保と生産量確保を最優先に取り組む。



滴生舎敷地内に整備された鍛冶工房

**問** 相互関税が及ぼす市の影響は。

**答** 市長 市内の製造業を中心に聞き取りを行ったが、一部の事業者を除き、生産している商品を直接輸出している

ないので現時点では大きな影響はないとの回答を得ている。また、直接商品を出している事業者においても、主要な取引先がアメリカではなく欧州やアジアへの輸出が中心であり、見通しが立たない状況下ではアメリカから他国へシフトしていくといった企業などもあった。今回の聞き取りを基に、相互関税についてまずは国同士の交渉がまとまり一定期間が経過してから影響が出てくると思われるので、今後も市内企業との情報共有を密にしながら物価高騰対策



菅原 規正 議員

## 物価高騰対策について新たな 市町村融資制度を検討してはどうか 市民にとって 良い商品であれば検討していく

**問** 新たに日本政策金融公庫の保証の利子補給を検討してはどうか。

**答** 市長 昨年11月末に市と商工会、金融機関で開催した年末金融懇談会において、日本政策金融公庫盛岡支店や岩手県信用保証協会二戸支所から事業所を取り巻く環境や信用保証協会における保証承諾件数等の状況、政策金融公庫の融資制度などについて情報提供をいただいている。現時点ではすぐに利子補給先を拡大する考えはないが、今後も景況や金利の動向に注視するとともに、様々な融資制度について理解を深めながら、金融機関、商工会等と情報を共有し市の支援の在り方について検討していく。

**問** 市民が分かりやすい市のホームページを今後作成していくか。

**答** 市長 現在市のホームページは、二戸市補助金等一覧の紹介ページと市で実施している物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業の紹介を掲載している。ホームページの作成について、市民に分かりやすく見やすいホームページとなるよう引き続き工夫していくとともに、様々な手段を通じて情報が伝わるよう努力していく。



二戸市ホームページのQRコード



田川 晃 議員

## 学校のエアコンの使用状況は 柔軟に利用できるよう 今年度見直しを行った

**問** 災害時の避難行動要支援者に係る個別避難計画の状況と、避難所での生活が困難な場合の支援は。

**答** 市長 個別避難計画は、避難行動要支援者名簿の情報に基づき、要支援者1人1人に対して居住者から最も近い避難所を指定し、避難経路や避難支援者等を定めた計画を策定する。

**問** 在宅での避難や車中泊を選択せざるを得ない場合は、できる限り避難所の避難者と同様に支援を行えるよう努める。

**答** 市長 総合福祉センター、浄法寺総合支所においてポスター及びパンフレット掲示・配架するとともに、市役所本庁舎においてもデジタルサイネージで発信してい

**問** 一般成人に対する「ヤングケアラー」の周知方法は。

**答** 市長 ヤングケアラーに対する認知度を高めることが大事である。

**問** 昨年行ったヤングケアラーのアンケート結果に対する教育長の見解と、学校授業での取り組みは。

**答** 教育長 ヤングケアラーに対する認知度が低い状況であると感じ、子供たちの不安や悩みに早く気づき、必要な支援につなげることが大事である。

**問** 学校におけるエアコン使用開始時期や設定温度、操作のガイドラインはあるのか、また児童生徒の意見は反映されるのか。

**答** 教育長 文部科学省策定のマニュアルに基づき、令和2年に教育委員会においてエアコンの使用基準を定め、使用期間は概ね6月から9月までとし、温度が28度以下になるよう使用する。児童生徒の体調や学習環境などを考慮し、状況に応じて柔軟にエアコンが利用できるよう今年度見直しを行った。



猛暑の中でも、快適な環境で学習しています。

いる。

**問** 学校におけるエアコン使用開始時期や設定温度、操作のガイドラインはあるのか、また児童生徒の意見は反映されるのか。

**答** 教育長 文部科学省策定のマニュアルに基づき、令和2年に教育委員会においてエアコンの使用基準を定め、使用期間は概ね6月から9月までとし、温度が28度以下になるよう使用する。児童生徒の体調や学習環境などを考慮し、状況に応じて柔軟にエアコンが利用できるよう今年度見直しを行った。

**問** 物価高騰の影響で二戸市内の個人消費は落ち込んでいると考えるが、市長は今の個人消費状況をどのように考えているのか。またプレミアム商品券を発行する考えがあるのか。

**答** 市長 二戸市内において、事業者・商工会からの聞き取りでは昨年10月の最低賃金の引上げ等を背景に緩やかに賃上げが進んでいるため、市民の家計への負担は大きいと推測している。プレミアム付き商品券事業は、一定程度個人消費の下支えにつながったと考えているが、課題も多く、購入したい人に行き届かなかった、商品券を使える店舗をもっと増やす必要があった、消費者還元分の経費のほか、事業の委託事務経費が多く



國分 敏彦 議員

## プレミアム付き商品券の 発行は お金も無い、課題も解決していないので 実施に踏み切れない

**問** 物価高騰の影響で二戸市内の個人消費は落ち込んでいると考えるが、市長は今の個人消費状況をどのように考えているのか。またプレミアム商品券を発行する考えがあるのか。

**答** 市長 二戸市内において、事業者・商工会からの聞き取りでは昨年10月の最低賃金の引上げ等を背景に緩やかに賃上げが進んでいるため、市民の家計への負担は大きいと推測している。プレミアム付き商品券事業は、一定程度個人消費の下支えにつながったと考えているが、課題も多く、購入したい人に行き届かなかった、商品券を使える店舗をもっと増やす必要があった、消費者還元分の経費のほか、事業の委託事務経費が多く

**問** より多くの中学生に福岡高校・北桜高校に通ってもらえるよう、理科系ゲーム系の学科等の特色ある対策をしなければならぬと考えるがどうか。また市内下宿生は何人いるのか、下宿生への補助はあるのか伺う。

**答** 市長 令和7年入学人数は、福岡高校校定員160名に対し82名、北桜高校機械システム科40名に対し23名・電気情報システム科14名でいずれも定員を割り込む状況となっている。

**問** 令和3年から広報による高校紹介の連載、中学生の課題研究発表会への参加探求後援会の開催ポスター、パンフレット作成などの補助により、魅力在市内外へ発信をするとともに通学費補助を実施し生徒確保に努めてきた。校舎の改築の要望もしている。

**答** 下宿生は2名で、生徒の保護者に対して月額1万円を補助している。下宿生の受け入れ先への補助はしていない。



魅力化推進に取り組んでいる福岡高校と北桜高校





田代 博之 議員

**公民連携まち再生事業の  
重点地区4か所の取組みは  
施設を活用して新しい魅力や  
地域力を高めていく過程が大切である**

**問** 金田一温泉周辺地区のカダルテラス経営状況は。賑わい創出や地域産業との連携は進んでいるのか。

**答** 市長 令和7年5月現在では手持ち資金が計画に沿って推移しており財務体質の改善が図られてきている。令和7年からは返済を開始しながら黒字化を目指す。賑わい創出についてはプールやデッキを併せた景観など四季折々のイベントを開催するなどして事業者の出店や果樹園との連携を広げて地域全体の魅力向上と集客を進めていく。

**問** 九戸城周辺地区で昨年末に石沢館北側から想定外の石垣がみつかったが対応は。また荷渡に移転する裁判所跡地利用の考えは。「田中館愛橘博士ゆかりの家」はどのような使われ方

管理運営はどのような想定をしているか。

**答** 市長 石沢館の石垣については史跡九戸城跡整備委員会、文化庁、県教委の指導で調査計画を策定してから実施していくことになる。

裁判所は令和8年度中に移転予定で跡地については歴史に関する施設に活用されることが望ましいと考えている。

「ゆかりの家」周辺は相馬大作、会輔社など明治維新に繋がる人物や名跡がある地域であり散策の際の案内、休憩、博士の功績の概要を展示してシビックセンターへの誘導を考えている。管理や清掃業務は地元をお願いしたい。

**問** 天台寺周辺地区での次の計画は。

**答** 市長 2028年の開山1300年にむけアジサイ植栽1万

本目指している。漆については一貫生産体制の構築を目指して進めてきている。収蔵庫に展示スペースを設けて今年中にオープンする。

**問** 駅周辺地区では駅東口のロータリー

がほぼ完成したようだが、残っている所と使用規則などを伺う。

**答** 市長 イベント広場を残している。おぼし川整備を経て令和9年度に完成する。県の管理部分は道路法に基づき、市の管理部分は要綱等を定めていて利用可能である。

会輔社の教場となった機蔭舎



田口 一男 議員

**米価高騰と農業政策は  
所得補償・価格保障を  
全国市長会で要望している**

**問** 農業政策の失敗が今日の米価高騰を招いたものである。当市の農業人口も減少し、市の人口減少にも繋がっている。後継者の育成、維持に市としても取り組むべきではないか。また、価格保障、所得補償を推し進める対策を国に強く働きかけるべきと思うがいかがか。

**答** 市長 市の農業従事者は10年間で887人減少し、平均年齢は25歳高くなり、市の人口減少と同様の傾向が見られる。農業を基幹産業と位置付ける二戸市にとって後継者の育成や確保については最優先で取り組まなければならない。国の事業で初期投資や不安定な経営に対して支援している。また、機械や設備導入による支援も実施

している。国に対して所得補償、価格保障を要請することは県や東北、全国市長会でも強く要望している。

**問** 学校給食無償化は県内でも、全国でもかなり進んでおり、この様な動きが令和8年度から全国給食無償化、中学校についてもできるだけ速やかに実現の方向で検討されているとの報道に繋がっているものと思わ

れる。また、諸物価高騰の中、米の値上がりによる給食費への影響について伺う。

**答** 教育部長 今年2月の国会で学校給食無償化について議論され、まずは小学校について令和8年度に、中学校もできる限り速やかに実現するという国の方針が示されたが、詳細につい

ては明らかにされていない。二戸市の給食費については、令和6年度に値上げしたことから、献立や調理上の工夫で対応できている。精米の確保は現契約の納入期限が10月末までなので、今のところはまだどは立っている。給食には二戸市産米を提供してきたが、令和7年度の入札では確保できず、岩手県産米で入札している。



二戸市内の水田地帯



土佐野 淳 議員

二戸・八幡平の稲庭風力発電工事における生態系及び環境への影響は最小限であると考えている

**問** 二戸・八幡平の稲庭風力発電工事で生態系への影響は出ないのか。その根拠も伺う。

**答** 市長 稲庭風力発電事業は、環境影響評価に基づき事前の調査が行われた。安比川への濁水流入対策は、造成に先行して側溝及び沈砂池工事を行い、降雨時の濁水流出を低減すること。沈砂池内の堆積物を定期的に除去すること。強雨時には環境監視を実施するなど、環境保全措置を講ずることになっている。環境影響評価は、環境省の審査を受けており生態系及び環境への影響は最小限であると考えている。

**問** 令和6年度学校保健統計調査では、肥満傾向にある本県の子供の割合が5歳〜17歳の男女全年代で全国平均を

**答** 市長 肥満予防は、幼児期からの取組が大切であり乳児健診時に保健指導や食事指導を行っている。

**問** 12月議会の教育長の答弁で、学校単位の部活動だけではなく

**答** 教育長 市の出現率を全国と比較すると、全ての学年で上回っており小学3年生と中学2年生が最も上回っている。学校では、生活リズム点検、業間マラソンや縄跳び、部活動での体力づくりなど運動や生活習慣への意識づけを行っている。



稲庭高原に立つ風力発電風車

上回り男子の8歳と12歳、女子の6歳と13歳は、全国で一番の出現率である。本市の肥満傾向にある児童生徒の出現率はどうか。その解消に向けた取組は。

**答** 教育長 新入大会から拠点校方式の施行を目指したが、年度途中でチーム登録の変更ができないことや、地区内の他校と合同チームをつくれなことが課題となった。本年度は、中総体に向けて拠点校方式の登録をしたチームはなく、新入大会も現状の部活動体制で参加することになる。



小田島 行伸 議員

防災無線の聞こえ方に  
対する対策は  
市民からの声を頂く  
仕組みを活用していく

**問** デジタル防災行政無線が整備されたが今でも聞き取りにくいという声がある。無線の聞こえ方に対して、市民の声を広く集めるための仕組み作りが必要と考えるが見解を伺う。

**答** 市長 防災行政無線の聞こえ方に対しては、個別に相談を受けて現場確認や機器の調整を行う他、相談された方には防災ラジオを貸し出して放送を聞くことが出来るように対応している。併せて電子メールやSNSでも文字情報を送り、様々な方法で情報を取得してもらおうという周知を図っている。

**問** 防災無線の放送内容についてでも聞き取りにくいという声がある。放送がどのような聞き取りにくいのかの把握も必要ではないか。

**答** 市長 防災無線は有事の際に、しっかりとした情報を伝える事が出来るようイベント情報は極力控えている。長文になると反響で聞き取りづらくなるため端的に放送するようにしている。デジタル化に伴い機械音声も利用してきたが、機械音声の聞き取りにくいのと声もあるので肉声

がある、並行して設置業者や保守点検業者と現状確認や対応策について協議を行っている。

**問** 無線の聞こえ方に特化した声を集める仕組みはないが、市のホームページを活用したい。

**答** 総務部長 ホームページ全体を管理している情報企画課と防災担当課の方で相談をさせて頂きたい。



市民に重要な情報を伝えるデジタル防災無線





駒木 昇 議員

**自殺予防対策の取り組み状況は  
「二戸市のち支える自殺対策計画」  
を策定し取り組んでいる**

**問** 自殺者の現状と対応は。

**市長** 人口10万人当たりの自殺者数を表す死亡率は、数年はほぼ横ばいで推移しているものの、国や県と比較すると、依然として高い傾向にある。令和5年においては37・5と全国の17・4、県の20・0よりも高い水準となっている。

や自死遺族への家庭訪問を進め支援に努める。

**問** 二戸市のフレックスタイム制度の検討は。

**市長** 制度の導入について具体的な検討には至っていないが、国及び県、他自治体等の動きを注視し、情報収集等を進めてきたところである。職員の心身の健康の保持、公務効率の向上のためにも働き方改革の推進は重要な課題であると認識しており、人材確保の観点からも柔軟な働き方のニーズに合わせた各種制度の導入は効果の高いものと捉えている。

また、課題もあり、市民サービスの低下を防ぎつつより慎重な検討が必要なものとも捉えている。

**問** 株式会社カダルミライの施設の有効活用について伺う。

**市長** 本年度より新たに実施するデイスタービス型の産後ケア事業は、宿泊施設の空き部屋を活用し、関係機関のご協力の下、開始した。内容は産後1年以内の母親及び乳児で、助産師が柱となり保育士、保健師、管理栄養士がケア内容に応じて対応する。施設の活用については、様々な取り組みも検討していく。



地域の健康教室「一戸病院精神科医師によるこころの健康講話」

**問** 農政の転換、ゆとりある需給計画で増産、農家への所得保障と価格補償、農業予算増額を国に求めるべきでは。

**市長** 市では、これまで市内生産者に国の生産目安を基にした主食用米の作付面積を示してきた。本市の特徴である複合営農をより支援するため水田活用交付金を活用し、所得確保を目指しながら、今後予定されている国の政策転換を踏まえ、国や県等と連携を図り、持続可能な農業経営につながるよう支援していく。

**問** 策が必要では。

**市長** 米国の関税措置に関しては両国政府間の交渉状況を注視しつつ、市内企業との情報交換を密にし、現在取り組んでいる物価高騰対策支援事業を着実に進めていく。

**答** 重点支援地方交付金は当市に約1600万円の交付限度額（配分額）の通知があり、支援について検討している。

**教育長** 就学援助制度では、準要保護は生活保護基準の1・3倍以下の世帯を認定基準とし、支援額も必要な改定を行い運用しており、現在の基準で就学困難を回避する支援ができていないと認識している。

**市長** 当市はマイナ保険証の利用率は36・3％と全国平均31・5％を上回っている中、大きなトラブルもなく円滑に運用ができており、今後も制度の周知、丁寧な説明を心がけていく。

### 物価高騰対策

**問** 深刻な物価高騰に追い打ちをかけ、暮らしと営業への不安が増すばかり。国に対策を求めるとともに緊急に市独自の対応策が必要では。

**市長** 米国の関税措置に関しては両国政府間の交渉状況を注視しつつ、市内企業との情報交換を密にし、現在取り組んでいる物価高騰対策支援事業を着実に進めていく。

**国保の資格確認書の発行**

**市長** 本市も東京都渋谷区と世田谷区のように、国民健康保険加入者全員に資格確認書を交付し、トラブルを未然に防止する対策を講じるべきでは。



米づくりと農業を守ろう。  
7月下旬、下斗米地区の水田。



畠中 泰子 議員

**市の水田農業を  
どう守っていく考えか  
持続的な農業経営に  
つながる支援をしていく**



## 特 集

## 意見交換会レポート

『二戸について  
なんでも話そう!』

7月9日に、今年3月に新築となった御返地防災センターにて、広聴部会主催の意見交換会～二戸についてなんでも話そう!～を開催しました。

この意見交換会は、市政前進のために市民の皆さまから幅広くご意見をいただき、それを市民の声として政策に反映し市政に届けることを目的にスタートしました。

第1回目は御返地・足沢地区の住民の方々を中心に、新しくなった施設でという思いから御返地防災センターでの開催となりました。

議長から本年度予算の説明があった後、3常任委員長からの議会活動報告、議員定数削減を実施した議員定数等調査検討特別委員会の活動報告を行い、約40分間、御返地・足沢地区の住民の皆様と意見交換を行いました。

地域の悩みとして出されたのは、老朽化した道路や橋梁についてのこと、除排雪問題のこと、漆を育ててもなかなか発育が悪いのでどうすればよいかなど、その地域特有の問題提起や、もっと人口減少だけでなく減少を食い止める施策展開を求める意見などが出され、大変有意義な意見交換会でありました。

8月26日（火）には浄法寺地区で開催、10月には金田一や上斗米（根森）地区でも開催予定です。たくさんのご来場と皆様のご意見をいただきたいと思いますので、宜しくお願いいたします。



なお、意見交換会の様子は、市議会YouTubeチャンネルで公開いたしますので、ぜひご覧ください。





# 令和6年度 政務活動費 執行状況

政務活動費は、議員が調査研究や研修、広聴広報、市民相談などの活動を行う際の経費として交付されるもので、当市では議員1人当たり月1万円、年間12万円が交付されました。

令和6年度の各議員の執行状況は下記のとおりです。

(単位：円)

議員名	実支出額	支 出 の 内 訳							
		調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	資料作成費	資料購入費	事務所費
土佐野 淳	138,952			138,952					
高村 人司	120,980	23,102	67,680				16,448	13,750	
柴田 清克	299,554	2,295	34,173		172,436		90,650		
堀野 忠教	72,945			33,788		39,157			
菅原 規正	145,033	2,295		88,788		39,157		23,793	
戸来 守和	72,945			33,788		39,157			
國分 敏彦	69,592						4,860		64,732
駒木 昇	103,013		72,070		18,991			11,952	
田川 晃	137,310	2,295			83,385			51,630	
沼井 賢壮	141,543		15,400	33,788		39,557		44,496	8,302
小田島 行伸	120,945			33,788		39,157		48,000	
出堀 満則	73,045			33,788		39,257			
岩崎 敬郎	135,184			120,000				15,184	
新畑 鉄男	67,680		67,680						
畠中 泰子	204,986	6,910					82,486	115,590	
田口 一男	147,285							140,600	6,685
内沢 真申	39,157					39,157			
田代 博之	33,788			33,788					

※支出の内訳のうち、「人件費」、「会議費」は支出実績がなかったため記載していません。

※交付額12万円を超える支出額は、自己負担となります。

※実支出額が12万円に満たない場合は、残金を市に返還しています。

政務活動費の収支一覧は市議会ホームページにも掲載しています。

収支報告書等の閲覧を希望する場合は所定の手続きが必要となりますので、議会事務局までお問い合わせください。

## 長年の功績を称え表彰

5月20日に開催された第101回全国市議会議長会定期総会で、本市議会から2名の議員が表彰されました。



★特別表彰★  
議員在職30年以上  
岩崎 敬郎 議員



★特別表彰★  
議員在職30年以上  
田口 一男 議員

※合併前の町村議員としての在職年数は、2分の1を市議会議員在職年数に通算しています。

## 政策提言書を提出

政策立案等に関する指針に基づき、総務常任委員会は「『二戸市の未来のために』人口減少対策に関する政策提言書」提出の発議を行い、可決されました。



沼井賢壮総務常任委員長から内沢真申議長に政策提言書が手渡されました。



内沢真申議長から藤原淳市長に政策提言書が手渡されました。 令和7年6月24日

### 議会活動の報告 (5月から7月)

5月

- 2日
  - 閉会中の総務常任委員会
- 8日
  - 議員定数等調査検討特別委員会
- 15日
  - 議員全員協議会
- 16日
  - 閉会中の総務常任委員会
- 22日
  - 議員定数等調査検討特別委員会
- 23日
  - カシオペア連邦議会議員協議会  
監査・役員会
- 29日
  - 議員全員協議会

- 議員定数等調査検討特別委員会
- 広聴広報委員会 広聴部会
- 広聴広報委員会

30日

- 閉会中の総務常任委員会

6月

- 6日
  - 議会運営委員会
- 9日
  - 広聴広報委員会 広聴部会
- 10日～24日
  - 6月定例会
- 18日
  - 市政調査会役員会
- 24日
  - 議会運営委員会
  - 議員全員協議会
  - 市政調査会総会

7月

- 9日
  - 二戸市議会と市民との意見交換会
- 10日
  - 令和7年度カシオペア連邦議会  
議員協議会総会及び研修会
- 15日
  - 議員全員協議会
  - 会派代表者会議
  - 広聴広報委員会 広聴部会
- 22日
  - 広聴広報委員会 広聴部会
- 29日
  - 二戸市・三戸町・田子町議会議員  
協議会役員会・監査会





紙面の中から答えを見つけてね！

## 議会だよりクイズ

下の○に当てはまる言葉（漢字2文字）を入れてください

7月9日に開催された

### ○○交換会

#### □応募方法

（前回の答え…「鍛冶」）

クイズの答えと住所、氏名、年齢、**議会へのご意見や議会だよりを読んだ感想・ご意見を必ずご記入**の上、ハガキやファックス、電子メールにてご応募ください。

正解者の中から抽選で**5人**に図書カード**1,000円分**をお贈りします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

※ご意見、感想等は議会だよりの紙面でご紹介させていただきます。ご了承ください。  
（氏名非公開）

□あて先 〒028-6192 二戸市福岡字川又47

二戸市議会事務局

FAX: 0195-23-1633

メール: gikai@city.ninohe.iwate.jp

□締切 令和7年9月30日（火）※当日消印有効

## みなさまの声を聞かせて！



クイズにご応募いただいた皆さまからのご意見をご紹介します。二戸市の今を考えます。

休憩案内施設整備事業費



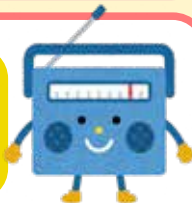
3245万円とあるが、車社会の今、駐車場をしっかりと整備して欲しいと願っております。  
（70代の方）



議会の傍聴をしたいと思っても中々できません。私にとっては議会だよりが市政の情報を知る唯一の機関です。自分が応援した議員の活躍も知ることができ楽しく読んでいます。

（80代の方）

### ●議会放送 お聴きいただきご意見をお寄せください●



カシオペアFMで一般質問の録音を放送しています。放送は19時～21時頃と9時～11時頃の2回です。放送日は一般質問終了後の調整となります（ホームページでお知らせします）。

この放送についてのご意見、ご感想をお寄せください。

二戸市議会メールアドレス

gikai@city.ninohe.iwate.jp



年度当初の市政の方向性、予算の使途等内容の濃い紙面だったと思います。人口減少は様々な問題課題を生み出していると思います。年間出生者100人未満となり今後ますます人口減少は進むでしょう。

将来どうなるのか不安を感じます。（60代の方）



## <編集後記>

議会だより編集委員の2年任期の改選を迎えます。

この間、議会だよりを通じて、どうしたら市民の皆さんが議会に目を向けてくれるか、皆さんに関心を向けてもらえるよう構成に力を注いだ期間でした。

議会だよりの編集に携わり、市民の皆さんに寄り添いながら、編集作業で意見を戦わしている委員の皆さんに改めて感謝を申し上げたいと思います。まだまだ改善する点もありますが、ともに編集構成にも市民の皆さんの声とマッチングできるよう、心に響く、内容の豊かな「議会だより」になるように努めてまいります。

#### \* 広聴広報委員会

委員長 戸来 守和

#### \* 広報部会

部会長 田口 一男

副部会長 堀野 忠教

委員 土佐野 淳

田川 晃

沼井 賢壮



### ～市議会だより第75号の訂正について～

市議会だより第75号22ページ「声のひろば」内に誤りがありました。次のとおり訂正してお詫言いたします。

・（誤）「NPO 二戸市文化振興協会 会長 館林 克典さん」

・（正）「NPO 二戸市文化振興協会 事務局長 館林 克典さん」





ユダオンパクのなにゃとやら盆踊り。来年には金田一温泉開湯 400年を迎える。

## 声のひろば

KOE NO HIROBA

## 呑香稲荷神社 宮司 小保内 威彦さん

二戸市福岡の呑香稲荷神社で令和3年より宮司を務めております。

年中行事に触れること、神社の祭礼に関わること、それぞれは地域への愛情を育むことにつながると思い、この数年間は、しばらく行われていなかった行事などの復活に力を注いできました。節分祭や夏越の大祓、大作神社例祭の復活など、いずれも地域の皆様の協力により執り行うことができてうれしく思っています。支えていただいている神楽保存会のメンバーも高齢化が進んでおります。神楽のメンバーも随時募集しておりますので興味のある方はぜひご連絡ください！

(写真は夏越大祓のために作成した茅の輪)



小保内威彦宮司（前列左から2番目）と妻の千春さん（前列右から2番目）と神楽衆のみなさん

このコーナーでは、市民の皆さまのまちづくりに対する思いを紹介します。みなさまと一緒に、このまちの未来を考えていきたいと思っています。

～議会を傍聴してみませんか～

白熱する論戦の様子など、議会（本会議）を間近で見ませんか。  
傍聴は当日の受付でOKです。  
傍聴席での傍聴は、最大25名まで可能です。

二戸市議会のホームページ  
二戸市議会のメールアドレス

<http://www.city.ninohe.lg.jp/info/2148>  
[gikai@city.ninohe.iwate.jp](mailto:gikai@city.ninohe.iwate.jp)

右のQRコードからも  
ホームページにアクセス  
できます→

